

時 期	年間通して	時 間	半日程度
難易度	★☆☆	対 象	どなたでも



竹とんぼ作り(TT)



<活動の概要>

小刀を使って、竹とんぼを作ります。売店で販売しているセットを使えば、比較的簡単に作ることができます。小刀の使い方、竹の削り方を覚えたり、竹とんぼの飛ばし方を学んだり、ふだん体験できないことができる活動です。

自分だけの竹とんぼを作って、遊んでみよう！どこまで飛ばせるか、作った後も楽しめる活動です。竹を持ち込んでいただいても構いません。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 小刀の使い方を覚え、安全に竹を削る方法知ろう。
- 刃物を使って、自然物を思う通りの形にするやり方を知ろう。
- 竹の強さやしなやかさを感じ、自然の不思議を感じよう。
- ものづくりの楽しさを感じるとともに、完成に至るまでの根気の必要性を感じよう。

準備物(1人あたりに必要な数量)

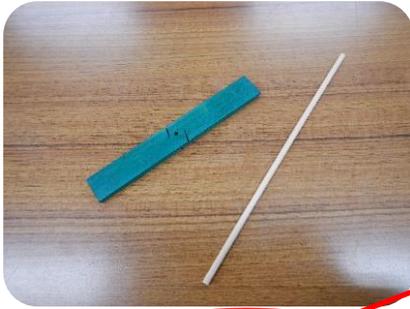
自然の家で準備しているもの (こちらでご用意している数)			団体で準備するもの(個人のみ)	
用具名	場所	個数	用具・材料名	個数
小刀 ※左きき用なし	活動用具棚⑥	160本	軍手	1双
きり	活動用具棚⑥		ぞうきん (そうじ用で構いません)	1枚
ブルーシート (特大) 9.2×7.2(m)	活動用具棚⑤	70本	ひざあて用タオル	1枚
(中) 5.2×3.4(m)	活動用具棚⑤	4枚	筆記用具	
(大) 7.2×7.2(m)	プレイホール	2枚	竹とんぼセット	1セット
(中) 5.2×3.4(m)	プレイホール	3枚	※竹とんぼセットは食堂事務室で販売しています。	
(小) 2.5×1.7(m)	プレイホール	3枚	必要数を事前に注文してください。	
(極小) 1.7×1.7(m)	プレイホール	2枚		
		7枚		

※自然の家で準備している活動用具の数は「利用ガイド～資料編～」にも記載しています。



手順

①セットは、羽と柄です。



ひざにタオルを乗せておくと、刃が当たってひざを切るけがを防げます。

②羽の溝がある側を削っていきます。



小刀を動かさずに、羽を動かすと安全に削っていくことができます。

ポイント！！



小刀を持たない手は、軍手を二重にしておくと、怪我の予防につながります。

③羽の左右、そして裏も左右を削っていきます。



羽の出来上がり！

横から見ると・・・



羽の厚さは、2ミリぐらい

④柄の部分の先を細くしていきます。



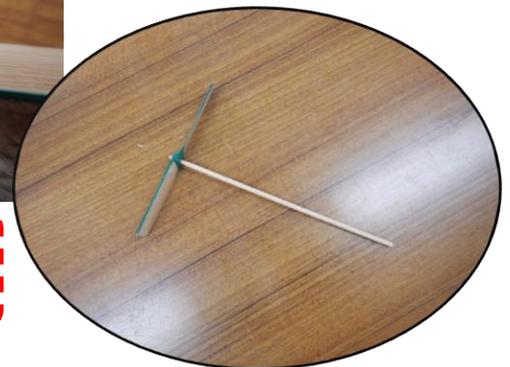
1センチぐらい先を細くして、羽の穴に入るようにします。

⑤羽と柄をしっかりと組み合わせます。



きりで羽の穴を広げる方法もあります。

完成！



～飛ばし方～

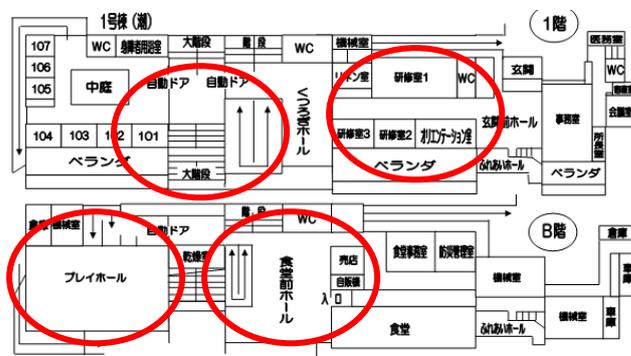
両手で柄を挟み、羽を少し前に傾ける。手をこするようにして右手を前に出すと、飛び出します。

人がいない方向に飛ばしましょう。

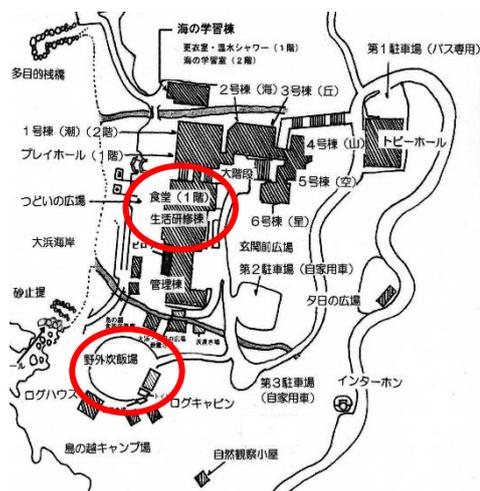


活動場所:

荒天時は、研修室や食堂前ホール、プレイホール、大階段などが望ましい。



天気が良ければ、つどいの広場や野外炊飯場で行うこともできます。



ふりかえりの視点

- 安全に刃物を使う時に、自分が気をつけたことはどこか。
- 刃物を使って、自分の思い通りの形に削ることができたか。
- 竹を削るときに、気をつけたところはどんなところか。
- 飛ばし方はうまくいったか。自分の作ったものを

指導上の留意点

- 刃物の使い方に注意してください。
- 飛ばすときは、一方通行で飛ばすなど、他の人に当たらないような工夫が必要です。
- 荒天プログラムとしても活用できますので、晴天時にキャンセルをすることができます。
- 削りカスを掃除機で吸うと詰まりますので、箒等で処理をしてください。
- 活動用具棚⑥の鍵は事務室で貸し出します。